搬出間伐の低コスト化と集約化 ～地域林業課題の取組～

後志森林管理署	地域林政調整官	赤羽根　浩
後志総合振興局森林室普及課	主査（計画指導）	新野　一春
寿都町産業振興課農政係	主任	土開　直樹

背景･目的

地域林業の課題を共有し民国連携した取組を検討した結果、高性能林業機械の導入は徐々に進んできているものの搬出間伐を始めたのが最近であり、効率的な活用や使用に慣れていなく、コスト意識は高くないのが現状。
また、小面積所有者が多い一般民有林の施業の集約化は重要課題で、低コスト化を進める上でも欠かせない。

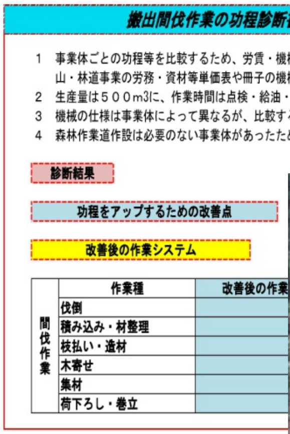
以上の課題に継続して取り組み、低コスト作業システム及び集約化を前進させ、儲かる林業を目に見える形で提示し森林所有者等の森林整備への意欲向上を図ることを目的としている。

後志総合振興局林務課、森林室普及課、後志森林管理署の担当者による打合せ

内容･成果

1　機械力に応じた低コスト作業システム構築の取組

①民有林の搬出間伐を実行している事業体等に対し国有林の間伐実行現場見学会を開催。
②民有林３事業体の搬出間伐の功程調査を行い、国有林を含めて功程の比較・分析を行い、機械の待ち時間や配置状況、連携した作業等生産性向上に向けた改善点を含めて「功程診断書」として各事業体に説明、提案。



搬出間伐作業の功程診断書(主な内容)

1　事業体ごとの功程等を比較するため、労賃・機械損料・燃料費等を公表している治山・林道事業の労務・資材等単価表や冊子の機械損料額を採用し、同一金額とした。
2　生産量は５００m3に、作業時間は点検・給油・機械整備を考慮し７．５時間に設定。
3　機械の仕様は事業体によって異なるが、比較するため一般的な仕様のものに統一。
4　森林作業道作設は必要のない事業体があったため除外。

診断結果

功程をアップするための改善点

改善後の作業システム

	作業種	改善後の作業
間伐作業	伐倒	
	積み込み・材整理	
	枝払い・造材	
	木寄せ	
	集材	
	荷下ろし・巻立	

功程診断書

功程調査の模様

2　集約化の取組

①「共和町」を集約化の普及推進重点地区に設定し所有者の把握と林分調査を実施。今後所有者への個別訪問を予定。
②「寿都町」では、共同施業団地において国有林林道を利用して民有林林業専用道を作設し現地検討会を開催。来年度以降施業の集約化を検討。
③所管を越えた林内路網図を作成し、施業の集約化や効果的な林業専用道作設に活用。

集約化の団地設定打合せ

今後の展開

低コスト作業システム構築の取組については、事業体との信頼関係を築き意見の把握を行い、次のステップとして例えば工程を管理する手法又はシステム作成を検討したい。
集約化については、所管を越えた林内路網図を作成する市町村を増やしつつ市町村担当者の意識向上を図り、森林所有者への普及指導活動を行い着実に前進させていきたい。

現状では低コスト作業システム構築と集約化それぞれの取組となっているが、これを結び付けることによって、目標に近づけていきたいと考えている。

～メモ～